



하회 별신굿
ハフェ ピョルシンクッ
(別神クッ)

慶北安東郡豊年河回洞に伝えられた民族劇で、伝説によれば高麗中期ごろ夢に出てきた神霊のお告げで..男女の霊を祭るために始まった。

慶北安東郡豊年河回洞に伝えられた民族劇で、伝説によれば高麗中期ごろ夢に出てきた神霊のお告げで..男女の霊を祭るために始まった。



줄타기
チュルタギ(綱渡り)

ナムサダンと言って地方をまわる興行師達が歌を歌ったり踊ったり演技をしながら綱渡りをする。朝鮮王朝時代から行われていた。

ナムサダンと言って地方をまわる興行師達が歌を歌ったり踊ったり演技をしながら綱渡りをする。朝鮮王朝時代から行われていた。



차전놀이
チャジョンノリ(車戦遊戯)

慶尚北道の安童、騎馬戦のような祭り。出身別に東西に分かれて戦うためたとへ夫婦であってもこの日だけは妻は出生地の応援をする。

慶尚北道の安童、騎馬戦のような祭り。出身別に東西に分かれて戦うためたとへ夫婦であってもこの日だけは妻は出生地の応援をする。



밀양 백중놀이
ベクチュンノリ(百衆遊戯)

慶尚南道ミルヤンに伝えられてきた。陰暦7月15日の百衆日(ベクチュンナリ)に草刈を終えた作男達が労いのため踊ったり相撲をしたりして豊作を祈りこの年の一番の作男を選ぶ。



영산 줄다리기
チュルタリギ(迎山の綱引き)

慶尚南道迎山に伝えられてきた綱引き大会で陰暦の正月15日行われる。この日には居住地別の男女二組に分かれて綱引きをし、女性側が勝てば居住地の田畑が豊年になるという。



양주 별산대놀이
ベクサンデノリ(山臺遊戯)

京畿道ヤンジュウ地方に伝えられてきた仮面遊戯で各名節ごとに開かれる。山臺遊戯と言われ高麗、朝鮮王朝時代から行われている仮面劇。無形文化財に指定された。

伝統遊戯2



윷놀이 ユンリ

主に婦女子が正月に遊んだ庶民的遊戯。木で作ったユツカラク(数字が書いてある)を座布団の上で放り投げ数字の高いものが勝。

主に婦女子が正月に遊んだ庶民的遊戯。木で作ったユツカラク(数字が書いてある)を座布団の上で放り投げ数字の高いものが勝。



그네뛰기 クネティギ

主に女の子の間で遊ばれたブランコ乗りで高麗時代には王宮の貴族社会で流行、朝鮮王朝時代には封建的な儒教のため女性は禁止された

主に女の子の間で遊ばれたブランコ乗りで高麗時代には王宮の貴族社会で流行、朝鮮王朝時代には封建的な儒教のため女性は禁止された



팽이치기 ペンシギ

三国時代に伝わり、その頃はドングリで作られた。その後日本で発達したコマが再び朝鮮国に伝わった。主に正月に遊ばれた遊戯である

三国時代に伝わり、その頃はドングリで作られた。その後日本で発達したコマが再び朝鮮国に伝わった。主に正月に遊ばれた遊戯である



널뛰기 ノルティギ

婦女子の代表的な遊びで全国に流行した。正月をはじめ端午節など大きな名節に行われた。高麗時代に伝わり朝鮮王朝時代は抑制された。



강강술래 カンカンスルレ

南海岸一帯に伝えられた。秋夕の満月に未婚の女性達だけで輪になって、歌を歌いながら踊る。最も情緒的でリズムカルな遊戯である。

風習 (名節)

韓国の名節(ミョンジョル)



1月 ソルナル

元旦の朝、早起をし顔を洗って清めた身体に晴着(ソルビム)を着てから先祖様に家内安全のお祈りをする。三大名節の一つで元旦に雑煮(トックック)を食べ年初の挨拶(セベ)をする。子供達がお年玉を貰うのは日本と同じである。



2月 チョハル

昔陰暦2月1日は作男日(モスンナル)といって作祈って白いお米に大豆をいれた餅(パットック)をつくり、その年の作男の年の数だけ食べさせる風習があり今でも農村地帯に受け継がれている。



3月 サムジナル

陰暦3月3日は春の大きな名節の一つであった。朝鮮王朝時代にはキロヘク(香老会)といって、功労者の老人を集めて宴会を開いたと言う。今では江南へ行ったツバメが暖かくなって帰ってくる日ぐらいの認識しかない。



4月 グァンドゥン

陰暦4月8日は、お釈迦様の誕生日であり、各お寺には高麗時代から由来された大きな行事(ヨドゥヘとタブリ)が行われる。最初は仏教的意識から始まったが次第に民族的行事になっていった。今はお釈迦様がおいでになる日。



5月 タンオ

陰暦5月5日は端午の節句で、天中節ともいい、先祖にお祈りし晴着を着て子供達が楽しく過ごす日である。男の子はシルム(相撲)をし、女の子はブランコをする。カンヌン(江陵)の端午祭が有名である。三大名節の一つ。



6月 ユドゥジョル

陰暦6月15日の節句のことで、ユドゥジョル(流頭節)といい、昔、東の方向に流れる川で髪を洗ったり入浴をすると災いから逃れるという風習があった。新羅時代の都であった慶州では今もこの風習がある。



7月 チルソク

陰暦7月7日の七夕ことで、東の空の牽牛星と織女星がウンファス(天の川)を挟んで1年に一度あえるという伝説がある。この日にはこの世の全ての鳥達がオジャクキョ(鳥鵲橋)という橋になって二人が逢えるようにしたという。



8月 チュンク

陰暦8月15日の秋夕、豊作を感謝し新たな暮らしてきるとい意味の名節で、ハンカウィ(中秋)ともいう。この日は各家ごとに新米でついたソンピョン(松葉餅)とお酒を供し先祖にお参りする。三大名節の一つ。



9月 チュングク

陰暦9月9日の重陽の節句、三月のサムジナルに薬の神様がやって来て帰って行く日であり、この日が過ぎれば身体を洗っても毒に当たらないという。この日はヤクスト(薬水)に行っで薬水を求める人が多い。また秋夕にお墓参りに行かない人がこの日に行くことにしている。



10月 ソントルパラム

陰暦10月をサンタル(上の月)といい1年のうち最も高い月という意味。10月3日、タンゲン様(開国神)が空から降りてきて朝鮮国をお作りになった日ケチョンジョル(建国節)である。また陰暦10月20日をソントルチュウィと云い1年で一番厳しい寒さのことをいう。



11月 ドンジ

冬至。24節期の一つで太陽が黄道上に動く位置によって季節が変わることで、1年を24節に分けた。この日は太陽が最も早く沈む。陰暦で12月22日、この日に食べる代表的な食べ物でドンジバンチュク(お汁粉)がある。



12月 ナベール

陰暦12月の末日の夜、すなわち大晦日のことでチェヤク(除夜)、1年の全てのことを清算する夜という意味だ。またスセク(守歳)といい各家ではサダン(位牌堂)にチェサをしチャプキイ(鬼神)が来ないようにする。この夜寝てしまうと眉毛が白くなるという謂れがある。



세배 세베 (元旦の挨拶)



떡국 톡투크 (お雑煮)



팥떡 팻투크 (豆餅)



단오제 단노ヂェ (端午祭)



탑돌이 탑투트리 (搭巡り)



연등회 옌돈헨헤 (連燈会)



ソンピョン:

うるち米をこねて適当な大きさにしてその中にゴマ・あんこ・大豆・緑豆・栗などを入れ、アサリの形に整え松の葉を散らして蒸したお餅。新米と新穀で作れ一年の収穫に感謝し、祖先の茶礼卓などに供える名節餅です。



生死の峠を乗り越えたことを記念する日、それがトル!

「トル」とは、人がこの世に生まれた後、初めて迎える誕生日のことです。昔まだ医学が発達していなかった頃は、生後1年以内に死ぬ子供たちが多かったそうです。ですから、生後1年目の日に、生死の峠を越した記念すべき日として、「トルチャンチ」を行うことになったそうです。トルチャンチは、王様を始めとしてすべての国民が行なっているお祭りであり、家族が集って子供の無病息災を祈るそうです。トルチャンチ (満一歳の誕生日)